

プログラム近況報告

2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

ルワンダ共和国 キラムルジ地域開発プログラム(RWA-187343)



ADPの支援で建設された新しい小学校で学ぶフローレンスちゃん(右、12歳)

チャイルドストーリー

家の近くに学校が建設され、 通学のために長時間歩かなくても良くなりました

キラムルジ地域開発プログラム(以下、ADP)の支援地域で暮らすフローレンスちゃんが住む村には、以前は小学校がありませんでした。一番近い小学校でさえ家から6キロ離れていたため、両親は入学を2年遅らせる決断をしました。このため、フローレンスちゃんは現在12歳ですが、4年生に在籍しています。以前は朝4時に起き、水汲みと家の掃除のお手伝いをした後に家を出ていましたが、学校が遠いため通学に時間がかかり、遅刻して先生に叱られることも多かったと言います。雨の日の通学は特に辛く、フローレンスちゃんは学校が嫌いで、毎日疲れていました。

このような子どもたちの問題を解決するため、ADPはこの村に新しい小学校を建設しました。フローレンスちゃんの家から新しい学校までは1キロです。通学が楽になり、勉強するのが楽しくなったと話すフローレンスちゃんの将来の夢はお医者さんになることです。



学校が近くなり通学が楽になりました

これまでこの村には、学校が遠いため入学が2、3年遅れたり、距離が原因で中退してしまう子どもが多くいました。新しい学校ができたことで、フローレンスちゃんのような多くの子どもたちの通学が大幅に楽になり、勉強を続けやすくなりました。

生計向上プロジェクト

農業の生産性向上と貯蓄融資組合の活動を支援しています

改良型の良質な種子や倉庫の支援のほか、作付の方法も教えました。これらの活動により、支援を受けた農家では、メイズ(トウモロコシ)の平均収穫量が約3倍になりました。また、貯蓄融資組合の活動も支援しています。この活動では組合員が定期的に少額を出し合って貯蓄をし、まとまったお金が必要になったときには、組合員は貯蓄した額に応じて低

利でお金を借りることができます。これまでにADPの支援により、1,703人の住民が合計65の貯蓄融資組合を組織することができました。近くに金融機関がない地域住民にとって、この活動は大変重要です。多くの人々は組合からお金を借りて、農業器具や種子の購入や小さな雑貨屋を開くための資金にしたり、子どもたちの教育に充てたりしています。



ADPの支援で倉庫ができ、雨などで収穫物が台無しになってしまうことがなくなりました

\$ 支援前に比べ農業生産性は
約3倍に



市場価格を見ながら最適な時期に出荷できるようになり、収入が向上しました



どの貯蓄融資組合も週に一度は皆で集まっています

保健・栄養改善プロジェクト

給水システムが完成し、1,600世帯に安全な水を届けました

1994年のジェノサイド（大量虐殺）時に壊されたままになっていた、全長25kmのパイプラインや汲み上げポンプを修繕しました。これにより、水源から遠く離れた8つの集落の合計1,600世帯に、安全な水を供給できるようになりました。

また、栄養不良の子どもを抱えた378人の母親に対して12日間の集中的な栄養教室を開き、地元で入手可能な食材を使った栄養価の高い食事の作り方を教えました。

ADPでは精神面での健康にも配慮し、ジェノサイドの加害者と被害者の和解も進めています。彼らは和解のシンボルとし



パイプラインが修繕され、住民のもとにきれいな水が届くようになりました

て、それぞれの家庭に苗木（「平和の木」）を植え、日々お互いの家を行き交い木の世話をすることで、悲劇を二度と繰り返さず、憎しみを後世に残さないという決意を強めています。



378人の母親が
栄養教室を受講



「平和の木」を植えるジェノサイド加害者（左）と被害者（右）



支援地域の女性のストーリー

支援によって自尊心と希望が持てるようになりました

3人の娘を持つゴダンスさんは、3年前に夫を亡くし、娘たちを養わねばならなくなりました。夫が残した小さな土地で一生懸命農作物を育てましたが、家族が食べていくのに十分な食料は収穫できず、貧しさゆえに長女は学校を中退せざるを得ませんでした。住んでいた草ぶきの家は雨に弱く、雨期にはひどく雨漏りしていましたが、食料不足の方がより深刻な問題で、雨漏りを気にする余裕はなかったと言います。

そのような時にADPの支援が始まり、ゴダンスさんたちは最も支援が必要な家庭のひとつに選ばれました。チャイルドとして登録された次女のイヴェットちゃんは、制服、靴、学用品などの提供を受け、家族は雨漏りのしない家を支援されました。家の隣には雨水を貯めるタンクも設置されました。「以前子どもたちは水汲みのせいでよく授業に遅れ、先生に叱られていましたが、タンクのおかげで長時間の水汲みをしなくてもよくなりました」とゴダンスさんは喜んでます。

ゴダンスさんは、ADPの支援で組織された貯蓄融資組合にも参加しています。組合のメンバーは週に一度集まり、各自の能力に応じて貯蓄し、必要な時に融資を受けることができます。ゴダンスさんは農業を拡大するために組合からお金を借り、そのお金で人を雇って前年の倍の収穫を得ました。借りたお金を返済し、来年はさらに多くの収穫を目指すとともに、長女が始めようとしている衣服を売るビジネスを助けたいと考えています。



支援地域に住むゴダンスさん(48歳、左)と娘のイヴェットちゃん(12歳、右)



キラムルジADPマネージャー
ジーンボスコ・ブズムレミ (42歳)

Q. どのような仕事をしていますか。

ADPの責任者として、予算に基づいたプロジェクトの企画運営、行政やNGOなどパートナーとの関係構築、支援地域のニーズの把握、プロジェクトの報告と評価、ADPスタッフの管理などを行っています。

Q. WVで働く原動力となっているものは何ですか。

ADPのスタッフ9人がチームとなって、支援地域に住む貧しい子どもたちや人々の幸せのために働けることに、喜びを感じています。

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行うほか、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

また2014年度は、地域の中でも特に貧しいチャイルドの家庭に対して、家のドアや屋根に使われる薄い鋼板を支援しました。



支援地域の小学校で学ぶ子どもたち

会計報告

RWA-187343

収支計算書 自2013年10月1日 至2014年9月30日

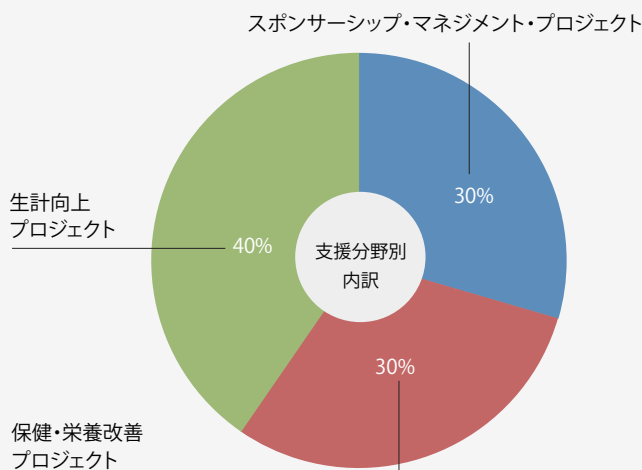
プログラム支援額(単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	65,656,511
当期支援額	65,656,511
前期繰越金	1,942,073
プログラム支援額合計	67,598,584

プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	19,929,834
保健・栄養改善プロジェクト	20,312,197
生計向上プロジェクト	27,280,119

プログラム支出額合計	67,522,150
次期繰越額	76,434



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
電話：03-5334-5351 (平日 9:30～17:00)
FAX：03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ：www.worldvision.jp
e-mail：dservice@worldvision.or.jp